

ひびき

令和2年11月1日発行
取手市議会だより 第235号

発行・編集責任者 取手市議会議員 齋藤久代
発行 取手市議会
編集 取手市議会事務局
住所 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話 0297-74-2141 ファクス 0297-74-1990
ホームページ <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
メールアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp



市HP議会ページ



市議会フェイスブックページ



Web版ひびき

デモテック始動



初！オンラインで模擬本会議

10月2・9・13日の3日間、オンライン会議システムを用いて「模擬本会議」を実施しました。議員が自宅等から議会に出席しようとするのが課題なのか。どこの自治体議会も行ったことのない取り組みですので、普段の会議では気に留めない場面でも検証が必要に。例えば、議長の「異議ありませんか」の問いに、「異議がある」と表明したいときは、画面に見えるように手を挙げアピールするのか、「異議あり」と書かれたフリップボードを準備して画面に見せるのか、マイクをオンにして「異議あり」と発言するのかなど、瑕疵のない議決を行うために試行錯誤しています。コロナ禍や出産前後など議場に来づらい状況での議会開催とは——新しい議会の形を見つけるために、官・民・学連携で検証を進めています。

◆「デモテック」って何？

デモテックとは、Democracy（民主主義）にTechnology（技術）を掛けて作り出された造語です。情報技術（ICT）や人工知能（AI）などを駆使した新しい議会の形を目指す言葉として用いています。取手市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所、一般社団法人地域経営推進センター、東京インタープレイ株式会社と4者協定を結び、議会のICT化による新しい民主主義の手法構築に向けて挑戦しています。



写真上：10月13日、議員の半数はオンライン参加の模擬本会議。画面上の市長役に対し、議場から質疑。
写真下：10月2・9日、議員全員がオンラインで参加し、議会事務局職員のみとなった議場。



オンライン視察で効果的に

8月12日、総務文教常任委員は、大規模改造工事が行われた藤代南中学校、消防本部、福祉会館をオンラインで現地視察しました。委員は自宅等からタブレットを用いて参加（写真左）。現地では職員が説明や動画中継を行いました（写真右）。別の職員が次の視察施設で待機しておくことで、各施設間の移動時間を短縮することもでき、効率的な視察が可能になりました。「課題はあるが、現地に行くのとほぼ変わらない」という声が多く寄せられました。



会議規則・委員会条例改正

9月4日の第3回定例会で、議会運営委員会から取手市議会会議規則と委員会条例の改正案が提出され、全員賛成で可決しました。この改正は、災害や感染症のまん延等のやむを得ない理由がある場合に、委員がオンライン会議システムにより委員会の会議に出席することを認め、会議室に集まることなく、討論と表決を除く部分について出席委員として議事に参加できるように有事に備えるものです。



優秀マニフェスト推進賞受賞！

10月7日に第15回マニフェスト大賞が発表され、応募総数2,842件の中から、取手市議会・議会事務局が「優秀マニフェスト推進賞 議会部門」を受賞しました。第12回、第13回の連続受賞から2年ぶり3回目の受賞です。グランプリや最優秀賞の発表は、11月13日の授賞式にて行われます。



討論

第3回臨時会、第3回定例会で審議された議案・請願に対する討論の概要をお伝えいたします。議案には市長が提出するものと、議員が提出するものがあります。

○第3回臨時会(8月7日)

市長提出議案

令和2年度一般会計補正予算(第5号)…可決

〔内容〕新型コロナウイルス感染症対策事業(防災ラジオ普及拡大事業、健康づくり継続支援事業、新生児特別給付金給付事業、GIGAスクール環境整備事業、プレミアム付商品券事業等)、食堂厨房改修工事等

加増議員…「GIGAスクール事業」の導入より少人数学級こそ優先すべき課題。プレミアム付商品券事業はやめて、市内小規模事業者全てに支援金として支給すべき。反対。

山野井議員…プレミアム付商品券事業で、市が設定する40%のプレミアム率や事業者への5%換金プレミアムは、消費者、事業者のどちらにも有意義。賛成。

久保田議員…防災情報の発信力を強化するため、防災ラジオを市民の方に広く普及することは大切。新生児特別給付金は、コロナ禍の大変な中、妊娠期間を終えて出生した新生児を抱える世帯の経済的負担を軽減する重要なもの。賛成。

小堤議員…いかなる状況下でも、学習できる環境を整えることが行政の責務である。その意味から「GIGAスクール構想」は大変意義がある。賛成。

金澤議員…地方創生臨時交付金を活用し、市民が安全で安心な生活を送れるよう新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいる点を評価。賛成。

結城議員…フィットネス事業者への支援は、市民の健康づくり支援にもつながる。事業継続応援給付金は市の独自事業で、新たに市内で開店した事業者には朗報。プレミアム付商品券事業は、商工会と連携を取っている点を高く評価。賛成。

○第3回定例会(9月1日~18日)

市長提出議案

取手市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例…可決

〔内容〕条例で市長等の市に対する損害賠償責任の上限額を定め、その上限額を超える部分を免責することができるようにするもの。

加増議員…条例で賠償責任を免責することは、市長の責任を曖昧にする。反対。

根岸議員…条文には書かれていないが、第三者機関の審査を経ること、免責した場合はその結果を公表し、議会に報告することが確認された。賛成。

令和2年度一般会計補正予算(第6号)…可決

〔内容〕新型コロナウイルス感染症対策事業(児童福祉施設等が行う感染防止対策への支援、オンライン保健指導事業)、高井小学校校舎内部改修事業等

遠山議員…基金を増やすことよりも、新型コロナウイルス感染症対策を求める市民の声にもっと応えるべき。反対。

入江議員…高井小学校の内部改修事業をはじめ、発展する町、取手市の実現のため、変化に対応する予算。賛成。

落合議員…児童福祉施設等への支援やオンライン保健指導事業をはじめ、コロナ禍の最前線で奮闘されている方々への支援が盛り込まれている。賛成。

金澤議員…決算剰余金について、地方自治法や地方財政法にのっとり、きちんと対応されている。賛成。

決算認定

令和元年度一般会計決算の認定…可決

関戸議員…多くの自治体がコロナ対策でさまざまな施策を行う中、取手市の対策が遅れた点で対応に問題あり。反対。

石井議員…町の活性化、人口減少・少子高齢化への対応、安心安全な学校教育、協働と持続可能な自治体運営に力を入れてきたことを高く評価。賛成。

久保田議員…防災ラジオは、災害情報以外でも市民の安全・安心につながる。市立保育所のICT化は、保育士の負担軽減により、人材不足対策にもなると期待。賛成。

佐藤議員…長い目線で若者の定住化を図り、活気と魅力あふれる町づくりをしていくことが大切。限られた予算でめりはりある配分が行われていた。賛成。

関川議員…限られた予算を効率的に配分し、公立保育所のICT化、学校教育環境の整備等、市の魅力度の向上に寄与する事業を数多く実施されていた。賛成。

須田議員…教育環境の改善、特にいじめ防止対策では、スクールカウンセラー・スーパーバイザーの配置、いじめの対応及び教育相談の在り方に関する調査・研究・検討の推進が行われていた。賛成。

金澤議員…町の活性化、定住化の促進、学校教育の充実、協働と持続可能な自治体運営を重点事業として、市の魅力度を高め、選ばれるまちの実践を目指した事業が数多く実践された。賛成。

令和元年度競輪事業特別会計決算の認定…可決

小池議員…公営ギャンブルの競輪事業から撤退し、市民の憩いとなる施設の整備の充実を求める。反対。

染谷議員…競輪事業は、スポーツの発展、社会貢献の意味合い、税収面からも取手市に必要な施設。賛成。

須田議員…競輪事業は税収やスポーツ振興という面も強く、社会貢献や地域の雇用の観点からも必要な施設。賛成。

議員提出議案

デモテック戦略特別委員会設置に関する決議案…可決(提出者…岩澤議員 他6人)

〔論点〕デモテック戦略特別委員会の定数及び審査目的

遠山議員…定数8人ではなく、議員全員参加で取り組むべき。審査目的に議会基本条例に関するものを加えるべき。反対。



金澤議員…特別委員会の定数は、全議員の半数以下にすることが申し合わせて決まっている。賛成。

遠山議員…審査目的に加えることで、議会の在り方を含め、ICT化にどう取り組むかを調査していくべき。金澤議員に反論。

金澤議員…議会基本条例の在り方について議論するのは、議会運営委員会の場合。遠山議員に反論。

遠山議員…議会基本条例について考えるわけではなく、審査目的に据えて取り組むべきということ。金澤議員に反論。

新型コロナウイルス感染症拡大防止PCR検査体制の抜本的強化を求める意見書…否決(提出者…関戸議員 他2人)

〔論点〕世田谷区のように、PCR検査について、「いつでも、どこでも、何度でも」を目標とすることの是非

金澤議員…施設入所前や介護・保育・教育現場などでの社会的検査ニーズに応えるために、医療の必要な患者さんへの対応が遅れるようなことがあってはならない。単純な拡充に反対。

関戸議員…感染者が出ていなくても、PCR検査を行うことが大変重要。この意見書を出すことで、感染がなくてもPCR検査を広げようとする国の姿勢を後押しすることになる。賛成。

請願

「市民の意思を市政に反映させるため、公平かつ公正に議論をつくす」議会運営を求める請願…不採択(提出者…遠藤 俊夫 他184人、紹介議員…関戸・細谷議員)

〔論点〕1. 請願の紹介議員の役割。2. 新型コロナウイルスに関する内容について、6月定例会で一般質問を行うことを制限したことの是非。

金澤議員…コロナ禍において、二元代表の一翼である議会として、市議会感染症対策会議により提言事項の追跡調査による回答を求めている。本請願は、当市議会の運営や二元代表制を理解していない。反対。

関戸議員…コロナ対応という最も市民の強い関心のある事項に関する一般質問を認めないと制限することは、市民の願いを踏みにじることになる。賛成。

根岸議員…私たちは、取手市議会基本条例の理念にのっとり、その役割を果たすべく日々努力している。この請願は、私たちに対し、より高みを目指してほしいという市民の願いと受け止める。賛成。

小池議員…民主的な議会運営を求める市民の声を素直に受け止めることが大事。賛成。

金澤議員…請願の紹介議員から、請願者に議会の正確な情報が伝わっているのか疑問。また、議会運営委員会で共産党の小池議員は、茨城県がステージ4になった場合を想定しても、定例会通常開催を一步も譲らず、議論にならなかった。こういったことをしておきながら、民主的な議会運営を主張するのはいかがなものか。関戸・小池議員に反論。

関戸議員…請願者と紹介議員は、一体ではない。また、市内の感染状況や全体の感染状況を見て判断したものであり、共産党が一步も譲らないということではない。金澤議員に反論。

小池議員…茨城県がステージ4の場合には、最初から通常開催は明らかに無理という否定から入っており、深い議論が行われず、民主的とは言えなかった。金澤議員に反論。

細谷議員…請願者と紹介議員が一体であるならば、請願を出す必要をなく、議員自らが意見書を出せばいいだけ。一体ではないから、紹介ということになる。金澤議員に反論。

金澤議員…請願者の意を酌んでの紹介議員なので、しっかりとした立場でなるべき。また、緊急事態宣言が発せられている中で、正副議長・会派代表者が出席する市議会感染症対策会議として、市に提言を提出することで、その役割を果たした。細谷・関戸・小池議員に反論。

関戸議員…市議会感染症対策会議で議論しているから、会派としての行動はしない、市長への要請はしないというふうに抑えることは大変問題。金澤議員に反論。

細谷議員…紹介議員と請願者は一体であるべきだというのは、請願を提出するときはそうだが、その後の審査の過程で変わることはあり得る。金澤議員に反論。

小池議員…議員全員が健康な状態で議会に参加できるという前提においては、議会を短縮したり、開催しないという方向に行ってはならない。金澤議員に反論。

決算審査を次年度予算へ

6月定例会で設置された一般会計決算・予算審査特別委員会は、予算の費目ごとに委員が2人1組で調査し、課題の抽出を行った結果を、全委員で精査しました。



全委員で精査し、提言事項をまとめ、「令和元年度取手市一般会計決算に関する決議案」として、9月定例会の本会議に提出し、全員賛成で可決しました。今回の決算審査の内容が、次年度予算に生かされるように、今後も予算編成の動きを注視していきます。

○提言事項

- 1 全庁各部課のさらなる連携による類似事業の見直し
- 2 将来を見据え、真に届く情報発信方法の調査研究促進
- 3 公共施設マネジメントの市民への情報提供と共有
- 4 桑原地区整備事業関係3者話し合いの推進
- 5 都市交通政策の推進に要する経費の見直し
- 6 市営住宅管理の見直し
- 7 学校給食費未納解消
- 8 児童生徒の読書率向上

◆各議員の一般質問については、市の議会報ホームページをご覧ください

市議会だより「ひびき」

取手市議会だより「ひびき」第235号(令和2年11月1日発行)一般質問ページへのQRコード



